

平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉西小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数とも、本校の平均正答率は全国に比べてやや高い結果でした。
- ・国語では、「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む」や「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする」など「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域が全国の平均正答率を上回っています。一方で、「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」といった「書くこと」の領域に課題がみられます。
- ・算数では、「棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる」や「計算の仕方を解釈して適用したり、発展的に考察したりすることができる」など「数と計算」「数量関係」の領域が全国の平均正答率を上回っています。一方で、「図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる」といった「図形」の領域に課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
家庭での正しい生活リズム、学校・学級への適応、地域との関わり、集団活動や学習活動への意欲ややりがい感など、多数の項目において全国より良い傾向がみとめられました。特に、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」については、たいへん高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「家の人と学校での出来事について話をしますか」や「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」は、全国よりよい傾向がみとめられますが、他の項目に比べてやや低い数値を示しています。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・学習のルールを整え、子どもたちが学習に集中できる授業づくりに継続して取り組みます。
- ・児童の思考力、判断力、表現力を伸ばすために、自分の考えや思いを伝え合う場面を意図的に設定し、全学年をとおして「学び合いの授業」づくりに引き続き取り組んでいきます。
- ・国語では、ニュースや新聞記事から必要な情報の収集方法を考えたり、情報を読み取って根拠を明確にして自分の考えや解き方について具体的に書いたりする学習活動を仕組んでいきます。
- ・漢字の学習では、同一の教材を用いて筆順や音訓読みなどをしっかり押さえ、熟語や短文での使い方について辞書を引いて確かめ、繰り返し練習して定着を図ります。また、日常的に文章の中で使う指導を継続して行います。
- ・算数では、色板などの具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりして、図形についての見方や感覚を豊かにする学習活動を仕組んでいきます。
- ・数直線、絵や図、数式等を用いて答えを導き、言語を使って自分の考えを表現できる時間を作ります。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・その日の学校での出来事や勉強したことなどについて、親子で会話する時間をとりましょう。
- ・本校の「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の習慣づけと繰り返し練習による定着を図り、お子さんの自主的な学習への意識が高まるよう、励ましの声かけなどにご協力をお願いします。
- ・生活リズムを整え、ゲームやテレビ、スマホ等を使う時間のルールを決めて守らせましょう。